第4回「機能性バイオ」ミニシンポ

低炭素社会実現に向けた、環境負荷低減、バイオ燃料、 バイオビジネスの新たな挑戦

日時:2018年3月28日(水)13:00~18:00+交流会

場所:東京大学柏の葉キャンパス駅前サテライト(1F)

※つくばエクスプレス「柏の葉キャンパス駅」西口より北へ徒歩1分

主催:TIAかけはし研究「機能性バイオ」グループ

共催:東京大学・機能性バイオ研究支援フォーラム

筑波大学・藻類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センター(ABES)

産総研・生物資源と触媒技術に基づく食・薬・材創生コンソーシアム(食触コンソ)

はじめに~新たな開拓へ向けて(13:00~13:10)

三谷啓志(東京大学・院新領域・研究科長)

· Part 1(13:10~14:10) 座長:河野重行(東京大学·FC推進機構)

国立環境研究所における多様な藻類リソースの特徴と様々な付加情報の整備

河地正伸(国立環境研究所・生物・生態系環境研究センター) [30min]

硫酸性温泉紅藻を利用した金属の選択的回収 [30min]

蓑田 歩 (筑波大学・生命環境系)

· Part 2(14:10~15:30) 座長: 富永健一(産総研・触媒センター)

液滴生成技術:優良増殖株の単離とバイオディーゼル燃料生成への展開 [30min

駒崎友亮、鳥居 徹(東京大学・院新領域・人間環境学)

触媒化学による未活用生物資源からの機能性化学品合成 [20min]

嶋本康広¹、礒田博子^{1,2}、富永健一¹(¹産業技術総合研究所・触媒化学融合研究センター、 ²筑波大学生命環境系/地中海・北アフリカ研究センター)

超臨界流体を用いた環境負荷低減技術 [30min]

大島義人、秋月信(東京大学・院新領域・環境システム学)

- ・コーヒーブレイク(15:30~16:00)
- · Part 3(16:00~17:30) 座長:大矢禎一(東京大学・院新領域・先端生命)

機能性バイオ:藻類バイオベンチャーの新たな挑戦 [30min]

竹下 毅、河野重行(東京大学・FC推進機構)

微細藻類の産業利用に向けたデンソーの取組み [30min]

渥美欣也 (株式会社デンソー・新事業推進部)

微細藻類ユーグレナ由来バイオマスの利用可能性について [30min]

鈴木健吾(株式会社ユーグレナ) ② euglena

・おわりに~TIA「かけはし」研究、低炭素社会と機能性バイオ研究―総括(17:30~17:50)

平嶋隆二(東京大学・TKHiC推進準備室) [10min]

原山重明(中央大学・研究開発機構)

[10min]







交流会(18:00~20:00) 2階ラウンジ

※上記のミニシンポをTIAかけはし研究「機能性バイオ」グループの主催で開催します。参加は無料です。ミニシンポ後には交流会 (18:00~20:00)を予定しています。交流会の参加費は、一般3,000 円、ポスドク・学生1,000円で、当日会場にて徴収します。ミニシンポおよび交流会への参加は、**3月20日(火)**までに、ホームページ http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/functionalbio/で申し込み下さい。当日参加も歓迎します。ご質問や連絡は下記の世話人や連絡先にメールで問い合わせてください。なお、デザインされた図は、クロレラの電顕3Dの断面です。クロレラはオイル(黄)だけでなくデンプン(紫)も貯蔵できます。

<世 話 人>

河野重行(東京大学・ FC推進機構)kawano@edu.k.u-tokyo.ac.jp 門脇和男(筑波大学・ABES)kadowaki@ims.tsukuba.ac.jp

富永健一(産総研・触媒センター)k-tominaga@aist.go.jp

参加連絡先:竹下 毅(東京大学・FC推進機構) t.takeshita@edu.k.u-tokyo.ac.jp





